



国際ロータリー第2530地区 2014-15年度

福島ロータリークラブ會報

第7号

例会日/2014年8月21日(木) 開会点鐘/12:30
会場/ホテル[辰巳屋]8F

和の心で
日々燭を掲げよう

Rotary



本日の
プログラム

新会員スピーチ

東北電力㈱福島支店長 田苗 博 会員

<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30

【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

例会次第

開会点鐘 丹治正博 会長
ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 菅野裕一 会員
「四つのテスト」唱和 牧野吉晃 会員
お客さま並びに来訪ロータリアン紹介
●新会員入会式 ●血圧測定
8月誕生祝い
会長挨拶 丹治正博 会長
食 事
幹事報告 坪井大雄 幹事
各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

プログラム担当 今井理基夫 委員

ニコニコBOX担当 相良元章 委員

◎本日のプログラム

閉会点鐘



丹治正博 会長

三々五々のご先祖さま

二〇一四―一五年度会長 丹治正博

月遅れのお盆があげたばかりですが、今日はご先祖さまにまつわるお話を致します。私たちは皆、父親と母親から生れてきました。父親母親もまた、それぞれの両親から生れてきました。こうして遡っていくと果たしてどのくらいのご先祖様が存在することになるか考えてみたいと思います。仮に一世代を三十年として二十五代(七百五十年)さかのぼりますと、私たちの先祖の数は三千三百五十五万四千四百三十二人になります。それが二十八代さかのぼりますと、なんと二億六千八百万人にもなるのです。私たちの生命はこんなに大変な数のご先祖さまが、いま、私たち一人一人の生命になってくださっているのだということに気づかされます。ですから、自分の命は自分だけのものだと、命を粗末にする現代の風潮は、とんで

もない思い上がりであると言わざるを得ません。

つまり、私たちはたかだか、三十年や四十年、五十年という自身の物心ついてからの経験だけで生きているのではなくて、大変な数のご先祖さまの喜び、悲しみ、その他諸々の精神的、肉体的経験が、私たち一人一人の血の中に流れて、そのお蔭で生かしていただいているのだ、ということを知らねばならないのです。

二宮尊徳の教え

こうしたご先祖さまに対する私たちの先祖孝行の道が冠婚葬祭の「まつりごと」であります。また、今生きておられる、いちばん身近なご先祖であるお父さま、お母さまに対して感謝と誠を捧げる姿、言い換えれば、今生きておられる両親に対するまつりごとが「親孝行」であります。彼の二宮尊徳翁が詠まれた歌がこの関係を良くあらわしています。

「父母もその父母も我が身なり われを愛せよ われを敬せよ」

この和歌の意味ですが、「父母や祖父父母や先祖代々の心は、皆我が身に集まっている。なぜならば、およそ天下の親という親で、我が子の死を喜ぶ者はない。我が身をもって我が子の死に代わろうと願うのが父母の心なのだ。そうであれば、父母の心は我が身のうちにあるわけではないか。だから人の子たるものは、よろしく我が身を愛し、わ

お盆は日本古来の行事

が体を敬って父母の心を奉ずるべきではないか。」という意味です。この歌のように、自分自身を大切に厭うということは、実はご先祖を敬愛することになるのであります。そして、ご先祖に対する「先祖孝行」が「子孫孝行」にもつながっていくのであります。この「祭り事」とか「親孝行」という縦の人倫の道を不真面目に、等閑にしているところに今の世の中の混乱と混乱の大きな原因があるといえましょう。

ちなみに、お盆の行事は、仏教の行事と思われていますが、もともとは祖霊(ご先祖さまの霊)をおまつりする日本古来の神道の行事なのです。きわめて古い時代の日本では、旧暦の一月十五日と七月十五日ごろの満月を中心として、年に二回、神さまのご来臨を願い、祖霊の祭りを行っていました。私たちは、大層にぎやかな時、あるいは楽しい時には「盆と正月がいつべんに来たようだ」などと表現しますが、実は「お正月」は、祖先の神さまや歳神さまといった「神々」をお迎えして行う「お祭り」であり、一方「お盆」は、祖先の神さままでには昂っていない「精霊(しょうりょう)」をお迎えして行う「お祭り」なのです。ともに、感謝と祈りを捧げるための対をなすお祭りです。それゆえに、お盆の行事とお正月の行事は、ほとんど共通する要素からなっています。

今日のお話の冒頭で申し上げましたご先祖さまの数の覚え方ですが、私は「三々五々のご先祖さま」と覚えていきます。二十五代前のご先祖の数が三千三百五十五万四千四百三十二人です。で、万単位を三々五々と覚えて下さい。

新会員スピーチ

東北電力(株)福島支店長 田苗 博 会員

東北電力のあれこれ

【自己紹介】

昭和31年3月、山形市生まれ昭和53年東北電力に入社。高校まで山形市、持家は仙台市、現在は妻と共に福島市民。仙台以外の赴任地（新潟、青森、会津若松）

○家族…妻、長女（嫁入り）、長男（神奈川）、二女（仙台）

○趣味…ゴルフ、ジョギング、読書、映画鑑賞

○楽しいこと（B級グルメ探索、花巡り、温泉巡り等）

○モットー

「ABC」=あたり前なことを、馬鹿みたいに、ちゃんとやる

「明・元・素」=明るく、元気に、素直で

○最近楽しんでいること：花巡り（さくら、ふじ、つつじ）
=この春はスタンプラリーにハマりました。

○最近見た映画：Xメン、永遠のゼロ、アナと雪の女王、超高速参勤交代、ゴジラ、トランスフォーマー⇒特に、「永遠のゼロ」は感動しました。

東北電力の生い立ち

○ルーツは東北振興電力（s11 設立）→（電力国家管理法）日本発送電へ（s16）

○（配電統制令）配電会社は東北配電へ（s18）

○（戦後の財閥解体・電力再編）日発の分割+東北配電との融合⇒東北電力の設立（s26）

○【地域の発展なくして当社の発展なし】～東北振興電力から伝わる企業理念（DNA）

初代会長 白洲次郎

○マッカーサーを叱った男、吉田茂の懐刀、日本一格好い男、白洲正子の夫など、多くの異名がある【白洲次郎】=当社の初代会長（S26～34）

○「日本の復興は電力から」をモットー⇒只見川電源開発に熱意、今も石碑あり

○ヘリコプター、ランドローバーを導入

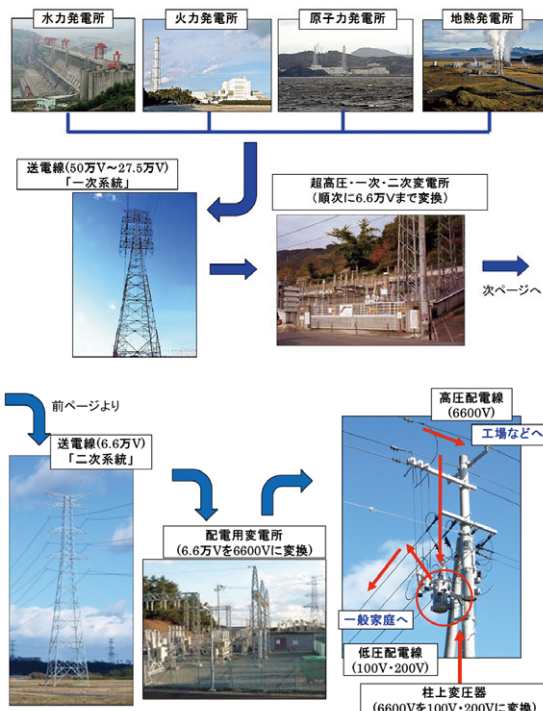
○只見川の水問題①水利権の帰属（東北か東京か？）→東北②本流案と分流案（福島か新潟か？）→本流案

会津地域の電源/発電所の配置（東北電力）



電力の基礎のキソ (1)

〈発電所からご家庭までの電気の流れ〉



電力の基礎のキソ (2)

○電圧と周波数（電力品質）…電力の品質は、主に電圧と周波数を一定に保つこと。電圧は電気事業法で規定→101±6V、202±20V

周波数の定めは無いが相当の精度（電気時計の精度）

※電力の安定供給とは品質を維持し、停電しないこと

○電力（kW）と電力量（KWH）…世の中ではkWとKWHを混同して使っていることが多い。正確さに欠けるが、kWは設備の大きさを表し、KWHは使う（または発電する）エネルギー量と考えればよい。→電気として仕事する量はKWH（家庭の使用量もこれ）

電力料金の仕組み

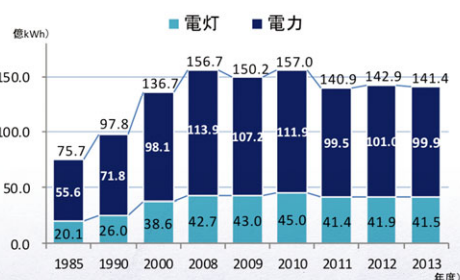
○料金値上げ（お詫び）→お蔭様で安定供給できている

○電気料金＝（基本料+使用料+燃料費調整+再エネ賦課金）×消費税

〈固定価格買取賦課金、太陽光サーチャージ〉⇒使用料比例で電気料金に合わせお支払い

福島県内の販売電力量の推移

○東日本大震災前に比べると9割強まで戻ってきた



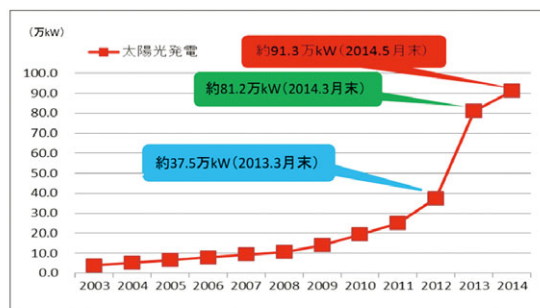
当社管内の太陽光発電導入実績推移 (右図)

【課題】…当社系統への接続が難しくなりつつある
(連系制約が徐々に増えている)
…変動し不安定な電源であるため、全体的な受入れ量に
限界がある (現状では制約は出ていないが…)

様々な停電の原因



○当社管内の太陽光発電導入実績推移



※自社開発分(八戸太陽光発電所1, 500kW、仙台太陽光発電所2, 000kW)は含まず

	平成25年3月末実績 (A)		平成26年3月末実績 (B)		平成26年5月末実績 (C)		増減率 (C/A)	
	件数(件)	出力(kW)	件数(件)	出力(kW)	件数(件)	出力(kW)	件数(%)	出力(%)
福島	22,600	98,500	30,700	223,900	32,400	265,700	143	270
当社全体	85,900	375,100	114,200	811,600	120,000	913,400	140	244

ロータリーの豆知識

第7回

ロータリークラブの会員と職業分類

会員の選出は、現会員の推薦により所定の手続きを経て、クラブ理事会の承認を得ることで決まります。

会員の種類

正会員 (Active Member) …原則善良な成人で、職業上良い世評を受けている正会員によって構成されますが、ロータリー財団学友、社会奉仕活動をしている人、奨学生・ボランティア補助金受給者、人道的補助プログラムの参加者たち、あるいは子供の世話などの為に仕事を中断した人、同じ理由のため仕事をすることがない人を正会員に選出することもできます。

名誉会員 (Honorary Member) …ロータリーの理想推進のために称賛に値する奉仕をした人で、ロータリーの運動を恒久的に支援できる人を名誉会員に推挙できます。しかし、濫用してはなりません。名誉会員は、入会金および会費は免除され、投票権はなく、職業分類の代表もせず、クラブのいかなる役職につくこともありません。かかる会員身分の存続期間は、会員となっているクラブの理事会によって決定されます。

職業分類

ロータリークラブの各正会員は、会員の事業、専門職、または社会奉仕活動の種類に従って分類されます。職業分類はロータリアンの所属する会社、企業、団体の主要かつ一般世間がそのように認めている事業活動を示すものか、本人の主たるかつまた一般世間がそのように認めている事業または専門職を示すものか、本人の社会奉仕活動の種類を示すものです。(標準クラブ定款第8条第1節(a)) クラブは、職業分類の慣行を慎重に検討し、現代の事業や専門職、および社会奉仕活動の環境に合わせるために必要であれば、職業分類に拡大解釈を適用すべきです。(ロータリー章典4.050.) 何らかの団体に所属して、地域社会の奉仕活動に従事されているのであれば、その活動が職業分類となり得る可能性もありますし、もしそのような活動に従事されていない場合は、専業主婦(夫) "Stay-at-home parent" のような分類が容認され得るでしょう。各クラブは、一事業、一専門職、または一種類の社会奉仕に偏らないバランスの取れた会員構成が求め

られています。(RI定款第5条第2節(b))

★最近、一業一会員が有名無実化していることについて

「一業一会員制の原則」は、クラブ親睦を守るために、ロータリーの創立者ポール・ハリス自らが1905年2月23日に打ち立てた大原則です。しかし、この原則は、アメリカにおいて形骸化していた現象を追認する形でRI理事会の提案により2001年度の規定審議会の決議によって廃止され、一業多会員制に移行しました(01-148号議案)。この大原則が廃止されたとき、ロータリーをこよなく愛したロータリアン達が、ロータリーに幻滅の悲哀を感じ、ロータリーに愛想をつかして、ロータリーを去って行きました。それは大切な「クラブ親睦」が失われてしまうからです。何故かと言いますと、一業多会員制ではクラブの中に同業者が沢山入って来ます。すると、当初ポール・ハリスが掲げたロータリーの原点、同業者を排除してクラブの親睦を守ろうという理想が失われてしまうからです。

ポール・ハリスは、1910年、「ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る」と悟りました。親睦なくして奉仕なし。親睦を守ろうという理想を失っては、高々と掲げられた「奉仕の理想」に燃えて実践することは出来ないのです。

しかし誤解のないように申し上げておきますが、この一業一会員制の原則は廃止にはなりませんが、このことは、ロータリーの世界における一つの現象に過ぎず、ロータリーの本質の問題ではありません。したがって、ロータリーの原理の世界にある本質の問題としては、一業一会員制は未だ消滅していないのです。

要するに、一業一会員制の原則は、制度としては廃止になりましたが、優秀な原理としては、未だ私達の心の中に生きていることを忘れてはならないのです。したがって、一業一会員制の原則を採用するか否かは、今でもクラブ自治権の問題であり、一業一会員制の原則が廃止されたからといって、一職種から1人以上採らねばならぬことにはならないのです。一職種から何人採るかは、あくまでもクラブ自身が決めるべきことです。自分達のクラブのことは自分達で決める、これを「クラブ自治権」といいますが、まさにこの問題はクラブ自治権の問題なのです。では、その根拠規定は何か。それは標準クラブ定款第9条「このクラブの管理主体は、これを理事会とする」という規定です。これは、定款上の大原則であり、国際ロータリーと雖もこのクラブ自治権を侵すことは絶対に出来ないのです。(文責/丹治正博)

私のひとこと

中丸 裕史 会員



八月一日(金)、第四十五回伝統あるわらじ祭り(わらじ踊り)に初めて参加させて頂きました。(全部で二十七団体、参加人数二八六一名と大規模な企画)

昭和二十四年当社開設、今年で六十五年を迎え、今までなぜ参加しなかったのかと不思議でした。おそらく過去の支店長がわらじ祭りの重要性を感じていなかったのではないかと思います。

参加人数は三十名で一番少ない規模で頑張りましたが結果、団体ではさすがに表彰は無理でしたが個人部門で今年入社した女性が最優秀賞を取る事が出来ました。特に声が大きく、元気な姿が決めて良かったそうです。

踊りは若鷺先生に習って社員全員で練習し(朝行うラジオ体操をわらじ踊りの練習時間にする等)一体感を感じながら、本番では踊りを終えた時の充実感は素晴らしいもので、大変良い経験になったと思います。

私も初めて地域の皆様と触れ合い、福島の良いさを再度痛感しました。これから地域に密着し、お役に立ちたいと思っています。今日この頃です。

例会プログラムのご案内

- 9月4日(木) 12:30~「辰巳屋」
 - ・岡田新也新会員スピーチ
 - ・「新世代奉仕のための月間」にちなんでスピーチ 青少年奉仕委員会担当
 - *誕生祝い *「四つのテスト」唱和
 - 17:30~ 新会員オリエンテーション (2012年以降入会の会員を対象にしておりますが一般会員の受講も歓迎致します)
 - 18:00~ 9月理事会
 - 19:00~ 合同歓迎会
- 9月11日(木) 12:30~「辰巳屋」
 - 「敬老のお祝い」…80歳以上の会員7名の皆様のスピーチ
 - *「四つのテスト」唱和 *プログラム案内
 - *「友」紹介 *血圧測定
- 9月18日(木) 12:30~「辰巳屋」
 - ・ゲストスピーチ 福島市長 小林 香 様
 - *「四つのテスト」唱和
- 9月25日(木) 12:30~「辰巳屋」
 - ・マスコミ関係者よりスピーチ
 - *「四つのテスト」唱和
 - 別室にて11:00~「マスコミ懇談会」開催

幹事報告

お知らせ

- 8月理事会議事録を配布しておりますご確認ください。

新 | 会 | 員 | 入 | 会 | 式



福島民友新聞社(株)
代表取締役社長

ご あ み ひろやす
五阿弥宏安 様
…紹介/丹治正博会長

生年月日/昭和31年1月16日
出身地/宮崎県
職業分類/新聞発行
昭和53年3月、早稲田大学政治経済学部政治学卒。
読売新聞社を経て今年6月に福島民友新聞社代表取締役・編集主幹に就任。



*新会員カウンセラーとして、藤井高志会員が委嘱されました。

8月誕生祝い

森川 英治 会員
菅野 晴隆 会員
今井理基夫 会員
八巻 恵一 会員
右近 八郎 会員



昭和 30年 8月 6日
昭和 41年 8月 7日
昭和 22年 8月 12日
昭和 34年 8月 14日
昭和 28年 8月 23日

ニコニコBOX報告

〈報告〉相良 元章 委員

本日のニコニコBOX投入額 27件 ¥56,000 累計 ¥536,000

○五阿弥宏安 会員

歴史ある福島ロータリークラブへの入会を認めて頂いたことへの感謝として。

○田苗 博 会員

今日は初めての会員スピーチですので、内容についてはごかんべん願います。

○丹治正博 会長

五阿弥宏安さんの入会を歓迎致します。田苗会員のスピーチでは電気事業の現状のついてお話をたまわることを楽しみにいたしております。

○坪井大雄 幹事

五阿弥様入会ありがとうございます。田苗会員、スピーチありがとうございます。

○白岩康夫 会員

暑いですが、しかし秋の気配も感じられます。今朝、庭でツクツクボウシが鳴き出しました。

○茂田士郎 会員

歌声喫茶に行つて来ました。月に一回ピアノホール、ローゼンケラーで行われています。昭和30年、40年代の歌を高齢にさしかかった男女が楽しそうに歌っています。カラオケと違うのはピアノ伴奏があること、コーヒーではなくビールが飲み放題のところですね。

○今井 康 会員

二十四日(日)は競馬場の花火大会です。一九時からの三、四〇分間ですので皆様是非お越しください。

○渡部世一 会員・菅野 晋 会員

聖光学院ガンバレ!!

○森川英治 会員

本日は誕生日プレゼントありがとうございます。

幡研一/内池浩/有田吉弘/高橋聡/海野卓哉/森岡幸江/牧野吉晃/相良元章/田沼紀美子/菅沼裕/古俣猛/八巻恵一/佐藤英典/安藤健次郎/松浦敬裕/藤井高志/増子勉